

# 令和8年5月 観光まちづくり特別委員会資料

## 長崎市における観光まちづくりの位置づけについて

### 目次

1	観光まちづくりとは	…	P2
2	長崎市における観光まちづくりに係る計画関連図	…	P3
3	第二次長崎市観光・MICE戦略(観光政策課)	…	P4-10
4	長崎市歴史文化基本構想(文化財課)	…	P11-15
5	長崎まちづくりのグランドデザイン2050(都市計画課)	…	P16-26
6	長崎市歴史的風致維持向上計画(景観推進室)	…	P27-30
7	環長崎港夜間景観向上基本計画(景観推進室)	…	P31-33
8	脱炭素先行地域づくり事業(ゼロカーボンシティ推進室)	…	P34-37

令和8年5月  
文化観光部、まちづくり部、環境部

## \*観光まちづくり

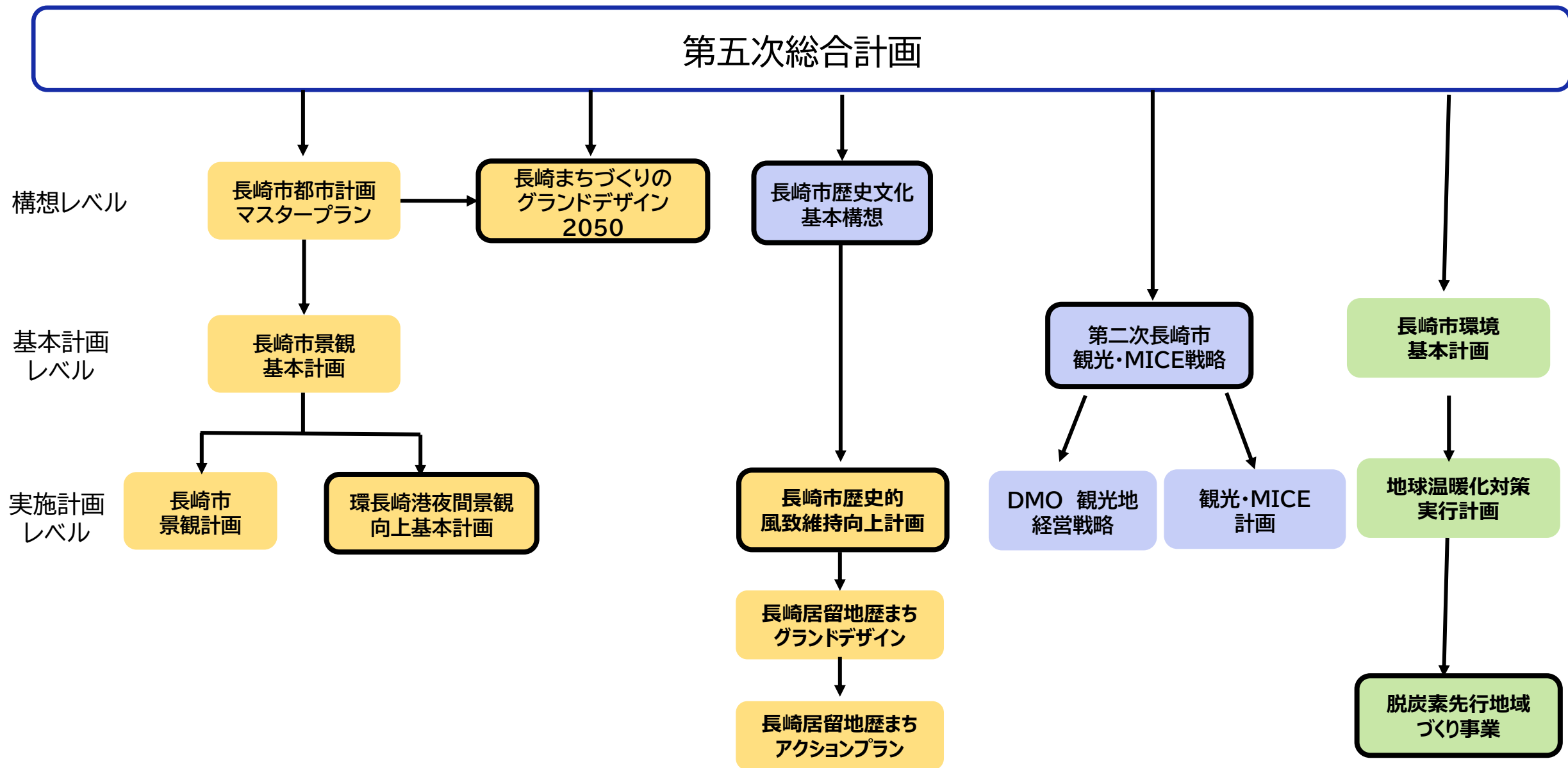
行政・DMO・事業者・市民が協力して「交流の産業化」を加速させ、まちが潤い、暮らしやすさが向上することで、訪問客・事業者・市民が相互にWin-Winとなる調和のとれたまちをつくること。  
(長崎市第五次総合計画より)

# 長崎市における観光まちづくりに係る計画関連図

まちづくり部  
所管

文化観光部所管

環境部所管



### **3 第二次長崎市観光・MICE戦略(観光政策課)**

# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 世界とつながる持続可能な交流都市 長崎 ——ここにしかない、えられる価値を。

### 目指す交流都市像

- 1 訪問客がより長く滞在し、何度でも訪れたいまち
- 2 事業者が地域資源を活かし交流で稼ぐまち
- 3 市民が観光まちづくりに関わるまち
- 4 危機や変化に強く、しなやかに対応するまち

### 目標(KGI・KPI)

KGI:旅行消費額、経済波及効果

KPI:訪問客数、MICE客数、国際会議開催件数、日本人延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、クルーズ客数、日本人旅行消費単価、外国人旅行消費単価、クルーズ客消費単価、リピーター率(国内)、MICE消費額、訪問客の満足度、事業者の満足度、市民の満足度、平均泊数

### 基本方針

- A 滞在価値の最大化と魅力発信
- B 観光・MICE産業の持続的成長
- C 市民参加と地域愛の醸成
- D 危機や変化に強くしなやかに対応する基盤づくり

### 基本施策

#### A 滞在価値の最大化と魅力発信

A1: 長崎ならではの体験価値の提供

A2: 市場動向等に対応したマーケティング強化

#### B 観光・MICE関連産業の持続的成長

B1: 収益力と競争力の強化

B2: 地域への波及効果の拡大

#### C 市民参加と地域愛の醸成

C1: 観光に関わる市民参画の機会創出

C2: 観光を通じた地域愛・郷土理解の醸成

#### D 危機や変化に強くしなやかに対応する基盤づくり

D1: 快適な滞在環境の整備

D2: 観光危機対応力とレジリエンスの向上

# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 基本施策

### A-1 長崎ならではの体験価値の提供

長崎市の強みである、2つの世界遺産や国指定史跡・出島などの長崎を代表する歴史遺産や独特の斜面地が創り出す夜景、異文化が融合した長崎の食など、長崎の貴重な歴史・文化、食などを活かした魅力ある観光コンテンツを提供していきます。

#### (1) 洋館活用、ユニークベニューなど新たな歴史文化遺産の活用

グラバー園や大浦天主堂の周辺に存在し、長崎市が管理し公開活用している歴史的建造物について、民間活力を導入し、魅力的で持続的な活用を目指します。

出島、グラバー園など歴史的建造物等で、会議・レセプションを開催し、特別感や地域特性を演出するユニークベニューを活用し新たな魅力を創出します。

#### (2) 長崎固有のストーリー性、テーマ性に富んだ観光コンテンツの磨き上げ (長崎学、平和プログラム、食、夜景など)

長崎開港以来の歴史、伝統文化等が有する多彩なストーリー性、テーマ性を活かし、長崎学研究による歴史文化の活用、平和プログラムの充実、独特な食文化、世界新三大夜景に認定された夜景などの独自のコンテンツを磨き上げるとともに、プロスポーツ、映画・アニメなど新たな魅力も創ります。

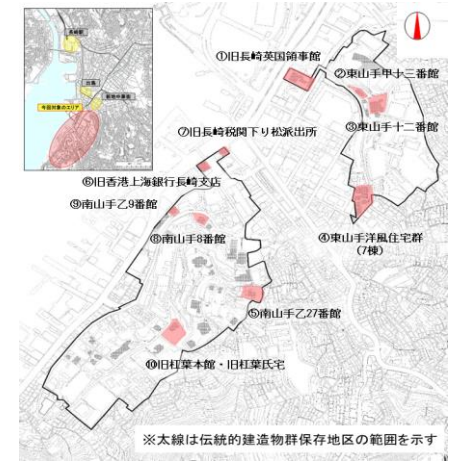
## 令和8年度主な観光関係事業の予算の概要

### A-1-(1):洋館活用、ユニークベニューなど新たな歴史文化遺産の活用

#### 洋館活用手法検討費

- 市所有の洋館等10件について、官民連携による魅力的な活用に向けた適切な事業手法等を調査するため、導入可能性調査を実施した。

令和8年度は、これまでの調査結果を踏まえ、さらに深掘りした調査を行うとともに、その結果に基づいた事業条件の整理、実施方針(案)等の作成業務を実施する。



#### 文化財保存整備事業費 伝統的建造物(旧杠葉本館ほか)

- 南山手伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物旧杠葉本館(洋風住宅)および旧杠葉氏宅(和風住宅)について、保存活用計画及び平成28年度耐震診断・補強設計業務に基づき、保存修理及び耐震補強工事を行う。



# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 基本施策

### A-2 市場動向等に対応したマーケティング強化

訪問客の属性やニーズ、消費行動等のデータを収集、分析、可視化し、国内観光・インバウンド、MICE、教育旅行の各分野におけるターゲットを設定し、効果的なプロモーションを実施していきます。

訪問客への案内については、多言語対応や情報発信機能の充実を図ります。

また、観光マスターブランドを域内・域外への浸透・認知拡大させ、市民、事業者への定着を図るとともに、一貫性のある誘客施策につなげます。

#### (1) 観光動向データの収集・分析・可視化

デジタル技術を活かした一元的な情報収集を行い、観光情報を発信し、訪問客の趣味・嗜好に合わせたサービスを提供します。

#### (2) ターゲットに対応したプロモーションの展開

DMOにおいて、デジタルマーケティングの強化を図り、訪問客のニーズや動向などのデータを収集・分析し、ターゲットに対応したプロモーションを展開し、訪問客の満足度向上と効果的な情報発信を強化することで、戦略的な誘致を実施します。

#### (3) 観光案内機能の強化

訪問客の旅行中の疑問・質問に対して多言語で対応ができる機器を充実し、情報をリアルタイムで簡単に入手できるツールを観光案内所はもとより他の施設にも導入するなど、快適な旅の実現を図ります。

旅ナカでの情報発信については、総合観光案内所だけでなく、宿泊事業者との連携、長崎市観光公式サイト「travel nagasaki」や総合観光案内所等でのデジタルサイネージの活用等により、リアルタイムの情報提供を強化します。

#### (4) 選ばれるための「ブランディング」の強化

長崎市観光マスターブランド「暮らしのそばに、ほら世界。」について、市民や事業者に共有し、域内・域外への浸透・認知拡大と市内事業者への一層の定着を図るとともに、一貫性のある誘客施策につなげます。

また、全国各地で活躍する長崎市観光大使等の著名人との連携によるプロモーションなどブランドイメージの向上を図ります。

## 令和8年度主な観光関係事業の予算の概要

### A-2-(3):観光案内機能の強化

#### 総合観光案内所運営費

#### 原爆資料館 インタラクティブサイネージ設置

・観光客が自分で操作し、主要な観光地の情報や次の目的地へのアクセスなど必要な観光情報を入手できるインタラクティブサイネージを設置する。



#### 眼鏡橋周辺 出張案内の実施

・観光案内機能強化を図るため、主要観光地である眼鏡橋周辺に期間限定の出張案内所(案内人)を配置し、現地での動線案内・交通案内・次訪問先の提案を行う。



# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 基本施策

### B-1 収益力と競争力の強化

観光・MICE 産業において、顧客ニーズに即したモノやサービスの高付加価値化に取り組むとともに、民間事業者に対し DX 支援を行うなど「稼ぐ力」を引き出します。

#### (1) 観光・MICE サービスの質の向上と高付加価値化

地域資源を活かした付加価値の高い体験コンテンツや持続可能性を重視する滞在プログラムを造成するとともに、MICE 主催者や参加者のニーズに即し、満足向上につながる受入環境づくりを進めます。

#### (2) DX 支援・収益力の向上

市内事業者を対象に、主催者ニーズの対応力強化のため、マーケティングデータの活用や消費拡大に向けたセミナー・ワークショップを実施します。

## 令和8年度主な観光関係事業の予算の概要

### B-1-(1):観光・MICEサービスの質の向上と高付加価値化

#### 観光地域づくり推進費（DMO事業）

##### 長崎市観光まちづくりネットワークの活性化

- ・ネットワークメンバーへの情報発信等を継続して行う。
  - ・DMOやその事業内容に対する認知を高めるためDMOの活動報告の場を設ける。
  - ・各事業者の新たなビジネスの創出を図るため、ネットワークメンバー同士のネットワーキング・マッチングの場を設ける。
- それにより各事業者が相互に情報発信・交流を行う。

##### 英語ガイド「Nagasaki Crew(ナガサキクルー)」育成

- ・インバウンド受入れに対応する英語ガイドを育成する。
- 1期生24名、2期生24名を育成したNagasaki Crewについて、3期目を継続して育成する。1期生は、約8か月の活動期間で合計100本以上のツアーを請け負っているものの、繁忙期の業務や大型バスの業務依頼はお断りすることも多く、更なる育成が求められる。



# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 基本施策

### C-1 観光に関わる市民参画の機会創出

インバウンドが回復しているなか、長崎では多様なニーズに対応できる市民ガイドが不足しており、DMOが主体となって市民ガイドを育成し、ローカルガイド体制の構築に努めます。

また、長崎さるくなどの観光イベントや伝統行事に市民の参加を促すことによって、市民が地域の魅力を再発見し、地域のまちづくりに自主的に取り組めるような環境づくりを進めます。

#### (1) 観光イベントや伝統行事への市民の参加促進

長崎さるくなどの観光イベント、伝統行事及び市民公開講座等の情報を市民に提供し、参加を促すことで、地域の魅力の再発見につなげ、地域のまちづくりに自主的に取り組めるような環境づくりを進めます。

#### (2) 市民ガイド・サポーターの活動促進

訪問客の多様なニーズに対応できる市民ガイドが不足しているなか、中期的な計画を策定し、育成の取組みを強化するとともに、MICEへの参加やボランティア、通訳などとして参画ができる仕組みづくりを推進します。

## 令和8年度主な観光関係事業の予算の概要

### C-1-(1):観光イベントや伝統行事への市民の参加促進

#### 20周年関連施策の実施

- ・まち歩き団体との20周年関連イベントを実施するとともに、「日本まち歩きフォーラムin長崎」などで、長崎さるく20周年の歩みと今後の展開を紹介し、持続可能な長崎さるくの取組を広く発信する。
- ・没入体験ができる都市周遊型のデジタルコンテンツの提供などを行う。



# 第二次長崎市観光・MICE戦略

## 基本施策

### D-1 快適な滞在環境の整備

訪問客の快適な滞在環境の構築のために、宿泊施設や観光地のトイレ等の整備の支援を行うなど誰もが快適に過ごすことができる環境づくりを行い、ユニバーサルツーリズムを推進します。

また、観光地の周遊を促進するため、民間事業者と連携し、予約、決済など総合的に対応できる仕組みづくりを推進します。

#### (1) 快適な滞在環境の充実

宿泊施設や観光地のトイレ等の整備を支援することにより、誰もが快適に過ごすことができる滞在環境の充実を目指します。

また、オーバーツーリズムへの対策を行い、住民負担を軽減するとともに訪問客の満足度を高めます。

#### (2) アクセス環境の向上

観光地の周遊を促進するため、交通事業者と連携し、利便性の向上を図るとともに観光型 MaaS などにより、バスやタクシーなどの移動手段をサービスとして提供し、検索から予約、決済、利用まで総合的に対応できるような周遊の仕組みを推進し、快適な周遊環境の構築を図ります。

## 令和8年度主な観光関係事業の予算の概要

### D-1-(1): 快適な滞在環境の充実

#### 観光客受入環境整備費

#### オーバーツーリズム対策

・クルーズ入港時や大型イベント実施時において混雑が予想される場所に警備員を配置して交通渋滞などの発生を抑制する。



## 4 長崎市歴史文化基本構想(文化財課)

# 長崎市歴史文化基本構想

## 1. 歴史文化基本構想とは

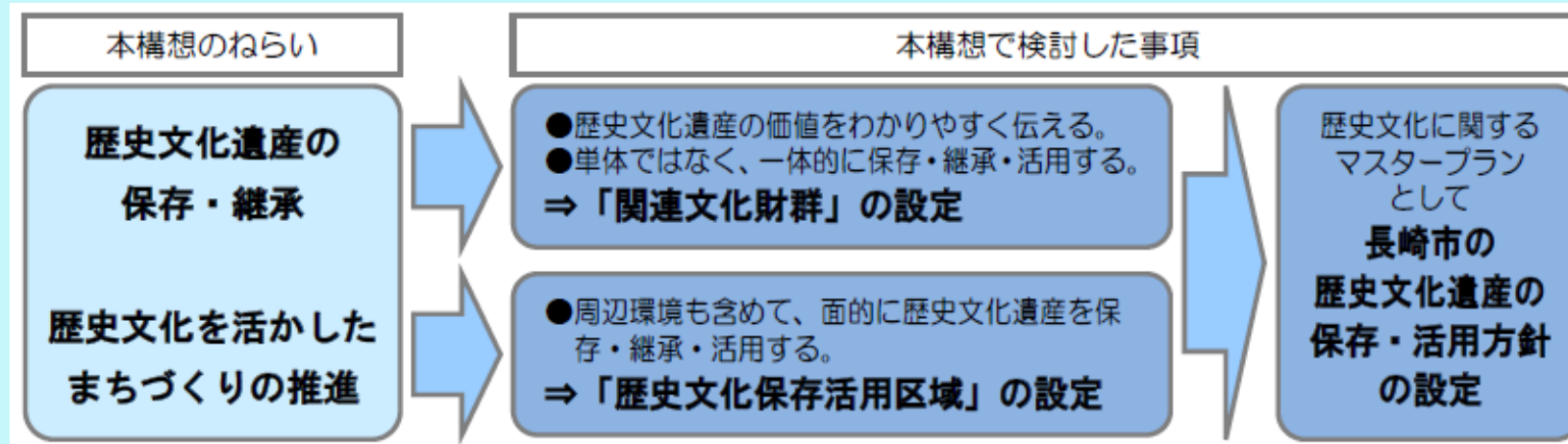
### (1) 策定の背景

長崎市の歴史文化を示す文化財等の適切な保存・活用を図っていくために、長崎市の歴史文化に関する総合的な方針や方向性を示すマスタープランとなる「長崎市歴史文化基本構想」として平成27年3月に策定しました。

### (2) 歴史文化基本構想のねらい

歴史文化遺産は、地域固有の自然環境のもとで、先人たちの生活や知恵、信仰などの営みが長い年月をかけて蓄積し、つながりを持ちながら形づくられてきたもので、地域の個性(アイデンティティ)を示すものでもあると言えます。

そのため、本構想では、地域の歴史や文化の理解に欠くことができない貴重な財産である歴史文化遺産を、将来にわたって保存・継承し、歴史文化を活かした個性あふれる魅力的なまちづくりを推進するために、以下のことを検討しました。



# 長崎市歴史文化基本構想

## 2. 長崎市の歴史文化遺産の保存・活用方針

### これまでの取組みの強化に向けた方針

これまで長崎市では、行政による文化財指定等の保護措置と、所有者等による保存・管理をはじめ、自治会や学校による清掃活動、文化財サポーター等による保存活動、「長崎さるく」や歴史文化に関する講座の実施など、多くの市民と協働で保存・活用に取り組んできました。今後も、これまで実施してきた取組みを強化し、歴史文化遺産の保存・活用を進めていきます。

#### (1) 歴史文化遺産の保護の推進

- 文化財保護法に基づく保護措置の推進
- 長崎市の歴史文化遺産に関する国際的な情報発信の推進
- 文化財保護思想の普及と支援の推進
- 防災対策の推進
- 歴史文化遺産の収集と収蔵施設・機関の整備

#### (2) 保存整備と技術者確保の推進

- 計画的な保存・活用の実施
- 技術継承に向けた体制整備と支援の推進

#### (3) 調査・研究の継続

- 長崎学の継承に向けた調査・研究
- 調査・研究の継続と情報の蓄積
- 調査・研究体制の整備

#### (4) 社会教育・学校教育との連携

- (仮称)「ながさき歴史の学校」の設立
- 歴史文化遺産を活用した学校教育・生涯学習の充実
- 学校教育・生涯学習との連携体制の強化

#### (5) 一般への公開活用の推進

- 適切な公開の推進
- 公開に向けた民間との連携強化

# 長崎市歴史文化基本構想

## 2. 長崎市の歴史文化遺産の保存・活用方針

### あらたな取組みの方針

本構想で新たに設定した「関連文化財群」や「歴史文化保存活用区域」を、歴史文化遺産の保存・活用のために積極的に活用していくとともに、必要な体制を整備していきます。

### (6) 関連文化財群の保存・活用の推進

- ① 関連文化財群のテーマに関連する歴史文化遺産の保存
  - ア. 関連文化財群を構成する歴史文化遺産の確実な保護措置
  - イ. 関連文化財群の充実化や新たなテーマの構築に向けた調査・研究
- ② 関連文化財群のテーマや関連する歴史文化遺産の普及・周知
  - ア. 関連文化財群を活かした歴史教育・学習の充実
  - イ. 関連文化財群を構成する歴史文化遺産の公開
  - ウ. 関連文化財群を巡るネットワークルート等の設定

### (7) 歴史文化保存活用区域におけるまちづくりの推進

- ① 歴史文化遺産の保存とその周辺環境の向上
  - ア. 歴史文化遺産の修理・修復
  - イ. 歴史文化が薫る環境の改善や保護
- ② 活用のために必要な施設や周辺環境の整備
  - ア. 歴史文化遺産の収蔵・展示及び保存・活用のための活動拠点となる施設の整備
  - イ. 歴史文化遺産の公開等と連動した環境整備、施設整備、サービスの充実
- ③ 区域の特性に応じた取組みの推進
  - ア. 歴史文化保存活用区域の歴史文化を活かしたまちづくりへの共通理解と機運の醸成
  - イ. 重点区域の一体的な保存・活用に向けた計画の策定

# 長崎市歴史文化基本構想

## 2. 長崎市の歴史文化遺産の保存・活用方針

### あらたな取組みの方針

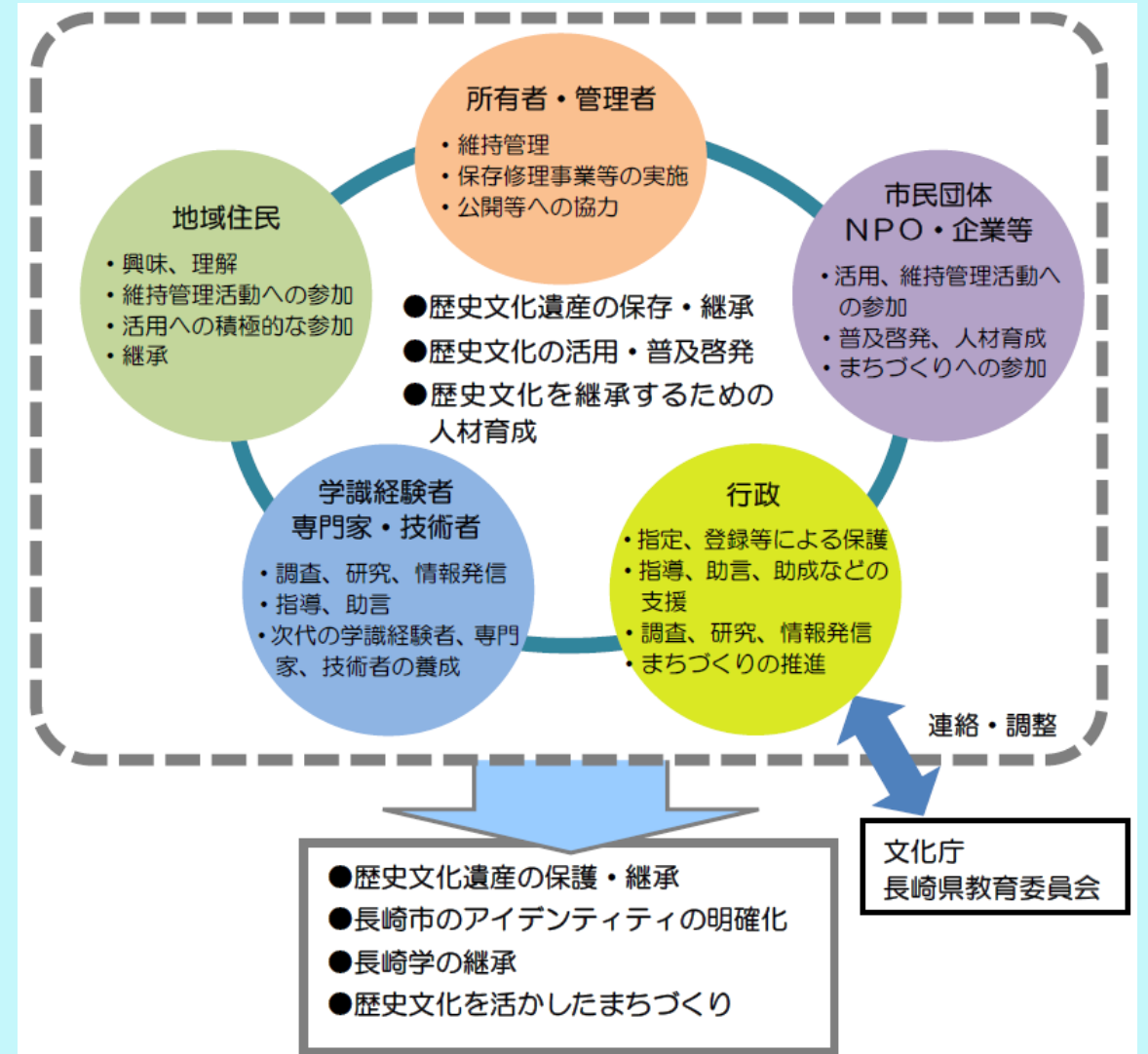
#### (8) 地域社会と行政の連携・協働に向けた体制づくりの推進

より多くの人々が、長崎市の歴史文化への愛着と誇りを持ち、保存・活用に積極的に関わっていくために、市民と行政の役割分担を示し、市民が参加する仕組みを構築していきます。

また、保存・活用に関わる各主体者の後継者の養成や、歴史文化に関わる人々の裾野を広げる取組みを進め、次世代へ継承していきます。

①市民、専門家、行政等の連携・協働・情報共有の強化

②保存・活用の取組みの次世代への継承



図：市民、専門家、行政等の協働のイメージ

## 5 長崎まちづくりのランドデザイン2050(都市計画課)

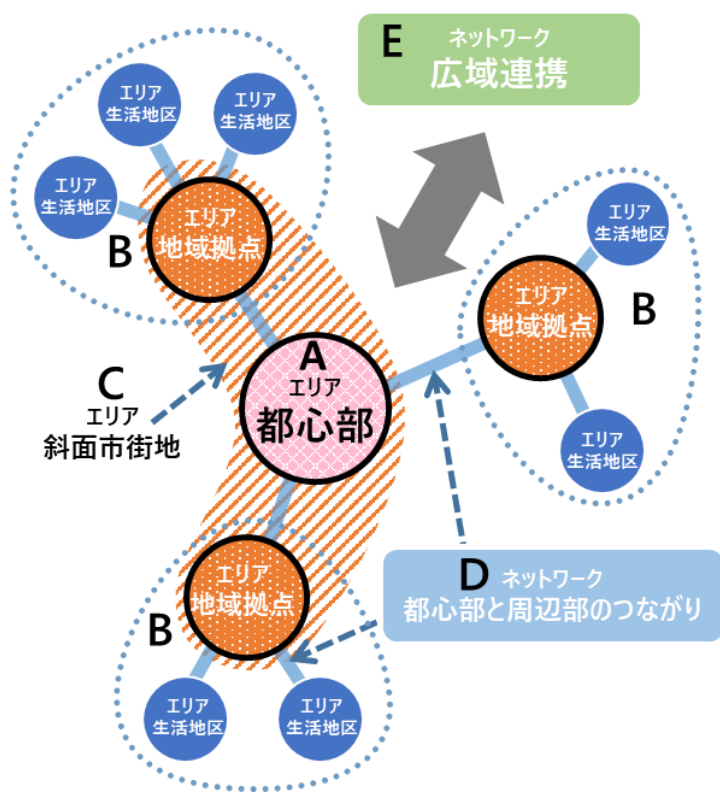
# 長崎まちづくりのランドデザイン2050

## (1) 概要

### ランドデザイン とは

今後のまちづくりの方向性を、市民、事業者、行政など多様な関係者と共有し、それぞれの強みや主体性を生かしながら、豊かな暮らしの実現や新たな交流を生み出すまちづくりを進めていくもの。

## 5つの視点からまちづくりの方向性を示す



### 【まちづくりのテーマ】

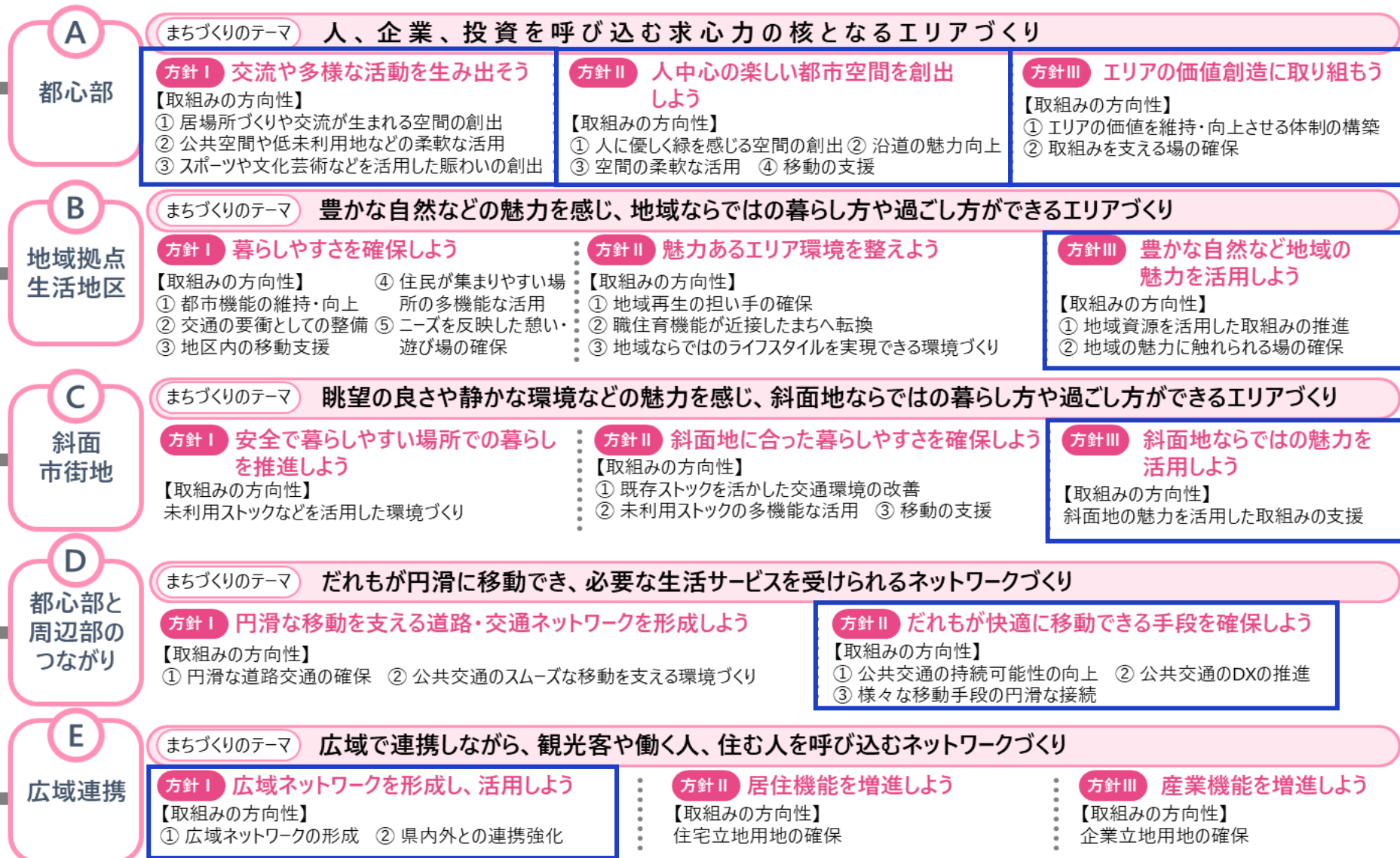
- A 都心部** 人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり
- B 地域拠点生活地区** 豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり
- C 斜面市街地** 眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり
- D 都心部と周辺部のつながり** だれもが円滑に移動でき、必要な生活サービスを受けられるネットワークづくり
- E 広域連携** 広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を呼び込むネットワークづくり

# 長崎まちづくりのランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

【市全体】  
まちづくりの  
テーマ

多様な魅力が多くの人・企業をひきつけ、長崎独自の暮らし・過ごし方を選択  
でき、だれもが安全・安心に暮らせる長崎づくり



# 長崎まちづくりのランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### A 都心部

まちづくりのテーマ

人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

ポテンシャル

交流拡大

- ・長崎駅周辺再整備、
- ・長崎スタジアムシティ開業
- ・松が枝国際観光船埠頭2バース化

主な状況や問題点

交流や多様な活動を  
生み出す空間が不足

各エリアを結ぶ魅力的な  
回遊動線が不足

まちなかは空き店舗や駐車場が  
増加するなど求心力が低下

## 方針Ⅰ 交流や多様な活動を生み出そう

取組みの  
方向性

### ① 居場所づくりや交流が生まれる空間の創出

市民や来訪者が心地よく過ごせる場所や交流が生まれる空間の創出。

### ② 公共空間や低未利用地などの柔軟な活用

公共空間やオープンスペース、低未利用地などを多様化するニーズなどを踏まえて柔軟に活用。

### ③ スポーツや文化芸術などを活用した賑わいの創出

長崎を象徴する伝統文化や、スポーツ、音楽、アートなどのまちづくりと親和性の高いコンテンツを活用し、賑わいを創出する取組みの推進。

取組みのポイント

試行を重ねながら使われる空間づくり

民間等 | 社会実験等の取組みに連携・協力  
・民有地での居場所づくりや交流空間づくりの実装を検討など



行政と民間の橋渡しや空間活用の企画コーディネート機能等が必要

行政 | 社会実験等を通し、空間に求められるニーズの把握  
・居場所づくりや交流空間づくりの実装の推進 など

取組みのポイント

民間等が力を発揮しやすい仕組みづくり

民間等 | ニーズを捉えたコンテンツの提供など



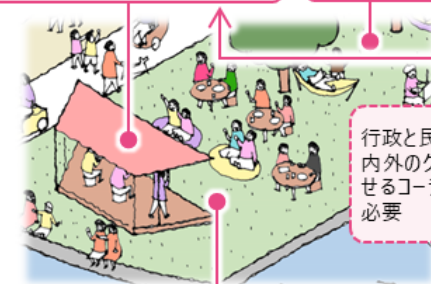
行政と民間の橋渡しや空間活用の企画コーディネート機能等が必要

行政 | 公共空間利活用に向けた規制緩和  
・民間ノウハウやアイデアを取り入れる仕組みづくりなど

取組みのポイント

地域内外のクリエイターなどの活動の場の確保と連携の仕組み

クリエイターなど | 地域内外のクリエイターが連携し、文化芸術等に触れられる機会の提供など



民間等 | 活動の場の提供  
・アーティスト等の支援 など

行政と民間の橋渡しや地域内外のクリエイターを連携させるコーディネート機能等が必要

行政 | 活動の場の提供  
・活動を支援する仕組みづくりなど

取組みイメージ

※取組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

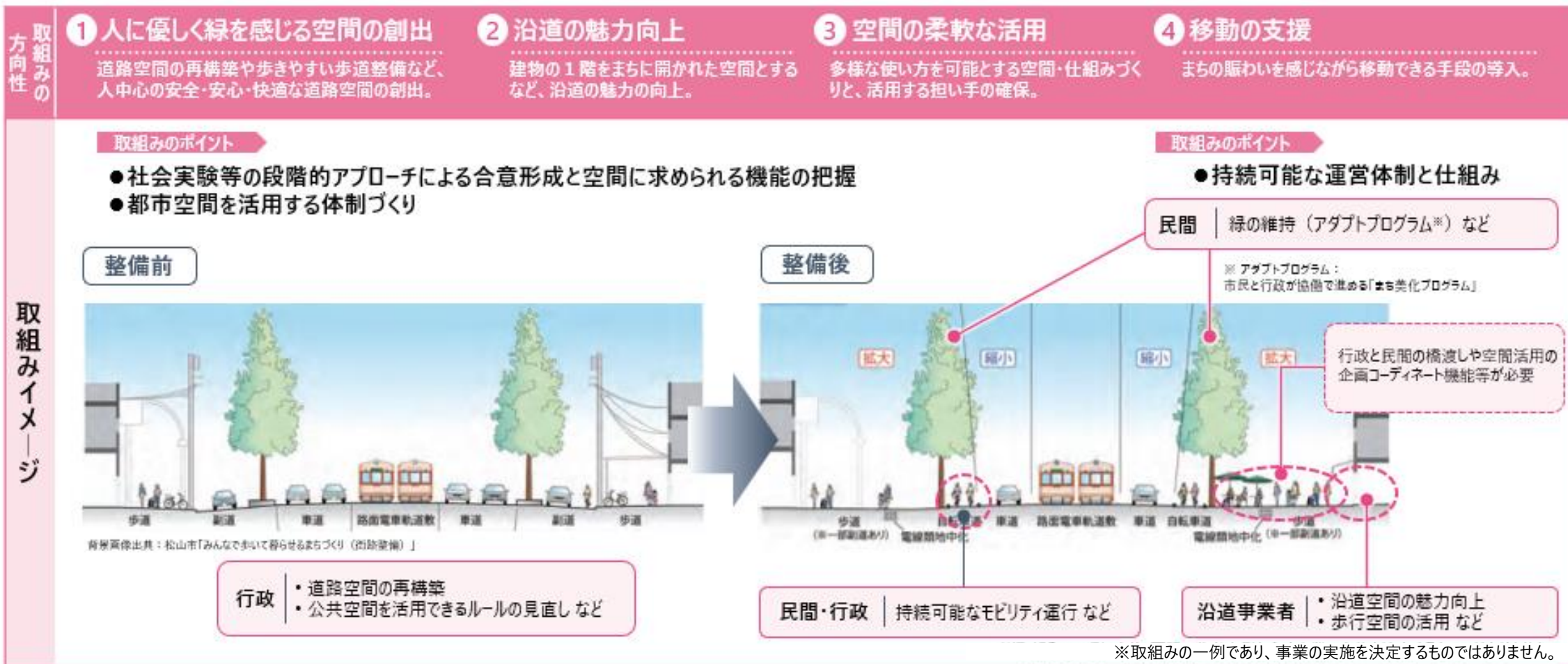
# 長崎まちづくりのランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### A 都心部

まちづくりのテーマ 人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

## 方針II 人中心の楽しい都市空間を創出しよう



# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### A 都心部

まちづくりのテーマ 人、企業、投資を呼び込む求心力の核となるエリアづくり

### 方針Ⅲ エリアの価値創造に取り組もう

取組みの  
方向性

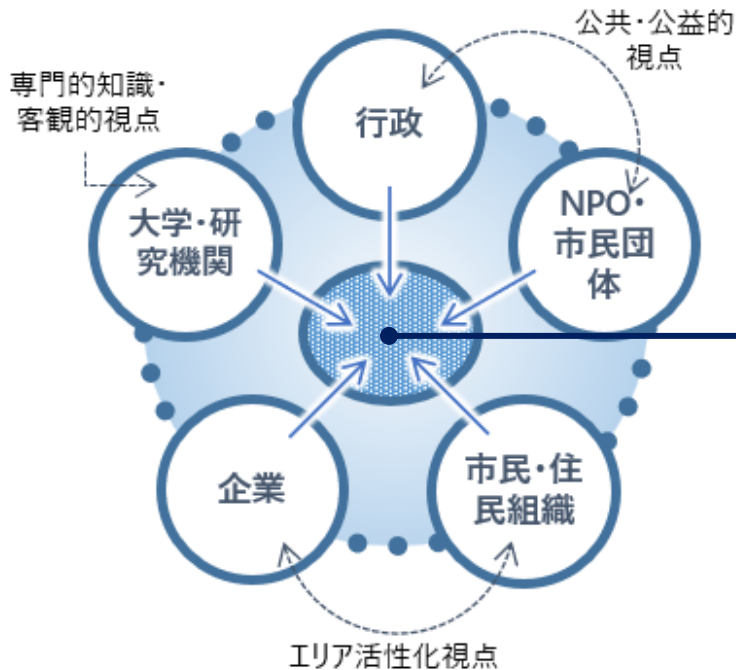
#### ① エリアの価値を維持・向上させる体制の構築

様々な主体が連携し、良好な環境の保全とエリア価値の維持・向上を目指す体制の構築。

#### ② 取組みを支える場の確保

公共施設や歴史的建造物などを活用して、価値創造の取組みを支える場を確保。

取組みのポイント ▶ 立場や分野を超えた連携体制の構築と拠点づくり



取組みイメージ

ステークホルダーの垣根を超えた連携協働のプラットフォームのイメージ

#### 【主な役割】

- **企画・コーディネート機能**  
多様な主体間の調整役、リソースのマッチング、プロジェクトの企画・推進、エリアの価値を共有し、ビジョンや方向性づくり
- **知識・情報の集約**  
都市データの収集・分析、専門知識の提供
- **実験・実践の場**  
社会実験の企画・実施、イノベーション創出
- **対話・交流の促進**  
タウンミーティング運営、異業種交流の場づくり、市民参加の促進
- **政策提言・評価**  
施策効果の検証

※取組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### B 地域拠点・生活地区

まちづくりのテーマ 豊かな自然などの魅力を感じ、地域ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

ポテンシャル

自然、世界遺産

主な状況や問題点

生活サービスの機能が低下

自然環境に恵まれたゆとりある暮らしや過ごし方のニーズがある

豊かな自然や食、世界遺産構成資産など、地域ならではの魅力はあるが活用できていないという意見がある

## 方針Ⅲ 豊かな自然など地域の魅力を活用しよう

取り組みの方向性

地域拠点関連 生活地区関連

### ① 地域資源を活用した取り組みの推進

公共施設などの余剰空間を活用したチャレンジショップなど、地域資源を活用した取り組みの支援。

取り組みのポイント

● チャレンジしやすい環境と支援する仕組み

<公共空間等をチャレンジの場として活用するイメージ>



民間等

- ・チャレンジの場の提供
- ・行政と連携したチャレンジのサポート など

行政

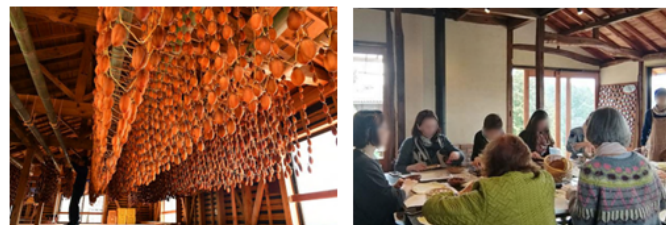
- ・公共空間をチャレンジの場として活用できるルールの見直し
- ・チャレンジの機会を創出し、サポートする仕組みづくり など

地域拠点関連 生活地区関連

### ② 地域の魅力に触れられる場の確保

既存建物や空き地等を活用した観光客を呼び込む滞在体験施設など、地域の魅力に触れられる場の確保。

<利活用可能な空き家を活用するイメージ>



出典：尾道市「空き家等活用促進モデル事業」

市民等

- ・地域特有の資源を活用した魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取り組み など

民間

- ・地域特有の資源を活用した魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取り組み
- ・空き家や空き地等の持ち主と使いたい人をつなぐ取り組み など

行政

- ・土地利用ルールの柔軟な見直し
- ・空き家や空き地等の流通促進
- ・取組事例の発信・共有 など

※取り組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

取り組みイメージ

# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### C 斜面市街地

まちづくりのテーマ 眺望の良さや静かな環境などの魅力を感じ、斜面地ならではの暮らし方や過ごし方ができるエリアづくり

#### ポテンシャル

眺望、静謐さ、  
低廉な地価

#### 主な状況や問題点

空き地・空き家が増加し、都市空間に  
ゆとりが生じつつある

車が通らない道が多いなど、都市基盤  
の整備が進んでいない

長崎の街並みを一望できる「坂」の魅力を活かした取組みや、斜面地  
の眺望を観光資源として活用できるという意見がある

## 方針Ⅲ 斜面地ならではの魅力を活用しよう

取組みの  
方向性

### 斜面地の魅力を活用した取組みの支援

建物用途規制の緩和などにより、斜面地の魅力を活用する取組みの支援。

#### 取組みのポイント

- 市民や民間等の積極的取組の展開
- まちづくりへの関わり方のステップアップ

< 眺望の良さなど斜面市街地の魅力を活かした取組みのイメージ >

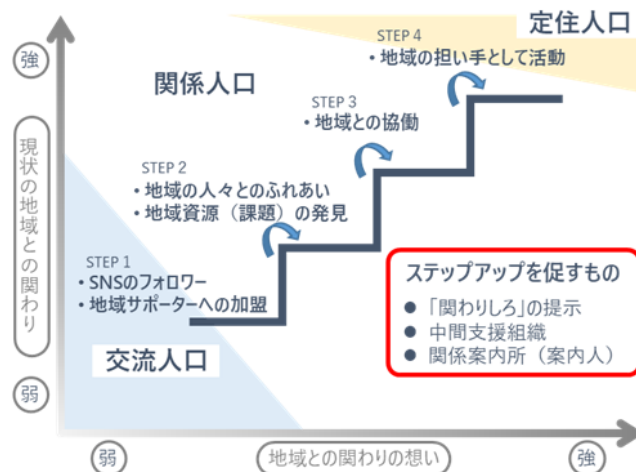


市民等 | 魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取組みなど

民間 | 魅力的なコンテンツ提供や地域活力を引き出す取組み  
・空き家や空き地等の持ち主と使いたい人をつなぐ取組みなど

行政 | 土地利用ルールの柔軟な見直し  
・空き家や空き地等の流通促進  
・取組事例の発信・共有など

< 地域との関わり方のステップアップのイメージ >



出典：総務省「関係人口の創出・拡大に向けた取組について」を参考に長崎市作成

※取組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

取組みイメージ

# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### D 都心部と周辺部のつながり

まちづくりのテーマ だれもが円滑に移動でき、必要な生活サービスを受けられるネットワークづくり

#### 主な状況や問題点

幹線道路に限られた平坦地に集積し、慢性的な交通渋滞が発生

公共交通機関の減便や路線廃止が続いており、市民からは交通利便性の低下を問題視する声が上がっている

## 方針 II だれもが快適に移動できる手段を確保しよう

取組みの方向性

### ① 公共交通の持続可能性の向上

既存路線の効率化や見直し等を進め、将来にわたって持続可能な公共交通の実現。

### ② 公共交通のDXの推進

MaaSや自動運転の導入など、公共交通DXの推進。

### ③ 様々な移動手段の円滑な接続

様々な移動手段の乗継環境を向上し、スムーズな乗り換えの実現。

#### 取組みのポイント

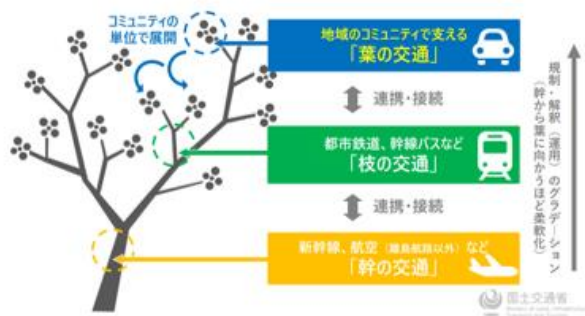
#### ●持続可能な地域交通の実現

#### ●デジタル技術の活用

#### 取組みのポイント

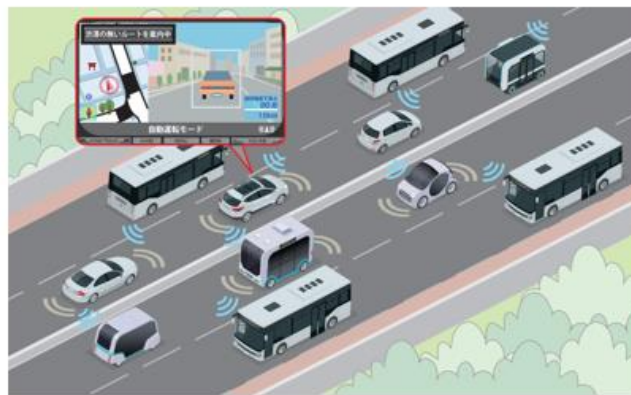
#### 地域の交通モードに対応したハブの確保

<公共交通の規模感に応じた主体の区分>



出典：国土交通省「地域のくらしを創る持続可能な交通の実現に向けて」

<最新技術を活用した移動手段提供のイメージ>



<地域の交通結節点のイメージ>



※取組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### E 広域連携

まちづくりのテーマ

広域で連携しながら、観光客や働く人、住む人を呼び込むネットワークづくり

#### 主な状況

西九州新幹線（武雄温泉～長崎）の開業や広域幹線道路網の整備などの広域ネットワークの形成が進んでいる

諫早・大村市では、半導体関連企業の集積が進んでおり、市民からは近隣都市の住宅・産業動向と連携した取組みを求める声がある

### 方針Ⅰ 広域ネットワークを形成し、活用しよう

取組みの方向性

#### ① 広域ネットワークの形成

九州新幹線西九州ルート<sup>※</sup>の全線フル規格や高規格道路の整備といった広域ネットワークの形成の推進。

#### ② 県内外との連携強化

二次交通の充実などにより、県内外との連携の強化。

取組みのポイント 広域ネットワークの早期実現と圏域拡大による効果の最大化

#### 実現させよう！ 関西直通運行！

大幅な時間短縮効果！

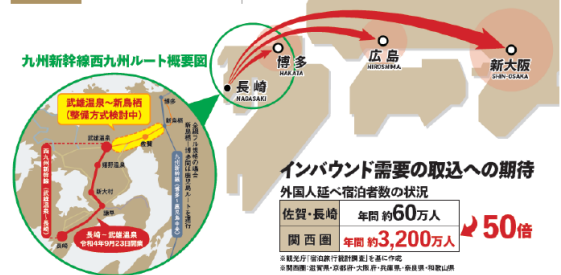
○長崎～博多間の所要時間（最速）



国土交通省試算（長崎～大分新幹線会社）

長崎 → 新大阪 約3時間15分

長崎 → 広島 約1時間54分



長崎駅周辺再整備

松が枝国際観光船埠頭2バース化



九州新幹線西九州ルート

取組みイメージ

出典：長崎県

※取組みの一例であり、事業の実施を決定するものではありません。

# 長崎まちづくりのグランドデザイン2050

## (2) 観光まちづくりに係る主な取り組み

### 「みらいの長崎」に向けたファーストステップ(抜粋)

#### 創造性を生かした都市空間の活用による交流拡大

長崎の都市空間がこれからも交流の舞台となるためにコトの魅力（体験的価値）が求められています。特にスポーツや文化芸術、アウトドアなどには、今後大きな可能性があります。

そこで、様々な資源を文化芸術や産業経済が持つ創造性によって最大限に生かす「創造都市」の考え方や取組みを参考に、長崎市においてもクリエイティブな人材の呼び込みや受入環境を整え、都市空間の活用を通じた交流拡大、産業振興を進めていきます。

#### 心地良く過ごせる場所づくりや都市空間活用を促進する体制・仕組みづくり

まちに心地良く過ごせる場所があることが、まちに人をひきつけ、滞在させます。都市空間を使いこなして「空間（=space）」を「居場所（=place）」に変えていくためには、このエリアに関わる多様な主体との連携・協働が必要です。

そうした都市空間活用を実現するために、連携・協働のハブとなる体制づくりや仕組みづくりに連携して取り組んでいきます。

【ジャズを通じた長崎のまちのブランディング】



出典：長崎市「長崎創生プロジェクト事業」

【伝統工芸を活かすまちづくり】



出典：金沢市「ユネスコ創造都市  
金沢モニタリングレポート」

【スポーツによる賑わい創出】



【公民学など様々な主体が連携した事業推進】



出典：国土交通省「官民連携まちづくりポータルサイト」

## 6 長崎市歴史的風致維持向上計画(景観推進室)

# 長崎市歴史的風致維持向上計画

## 1 計画概要

(1) 歴史的風致維持向上計画とは

歴史的建造物や伝統的な人々の活動からなる歴史的風致について、市町村が作成した歴史的風致維持向上計画を国が認定し、法律上の特例や各種事業により市町村の歴史まちづくりを支援するもの。

(2) 長崎市歴史的風致維持向上計画

・計画期間: 令和2年度(令和2年3月認定)～11年度

・歴史的風致: 5か所(重点区域1区域※令和8年3月に区域拡大)

### ①近世長崎の町人文化にみる歴史的風致 (新・重点区域)

【活動・営み】  
長崎くんち  
精霊流し 等



【歴史的建造物】  
眼鏡橋  
出島和蘭商館跡  
諏訪神社 等



### ②中国文化の伝来にみる歴史的風致 (新・重点区域)

【活動・営み】  
中国盆  
春節祭 等



【歴史的建造物】  
崇福寺  
興福寺  
唐人屋敷跡 等



### ③長崎居留地の海外交流にみる 歴史的風致(旧・重点区域)

【活動・営み】  
洋館の保存活動  
多様な信仰  
大浦くんち 等



【歴史的建造物】  
大浦天主堂  
旧グラバー住宅  
大浦諏訪神社 等



### ④外海の石積文化にみる歴史的風致

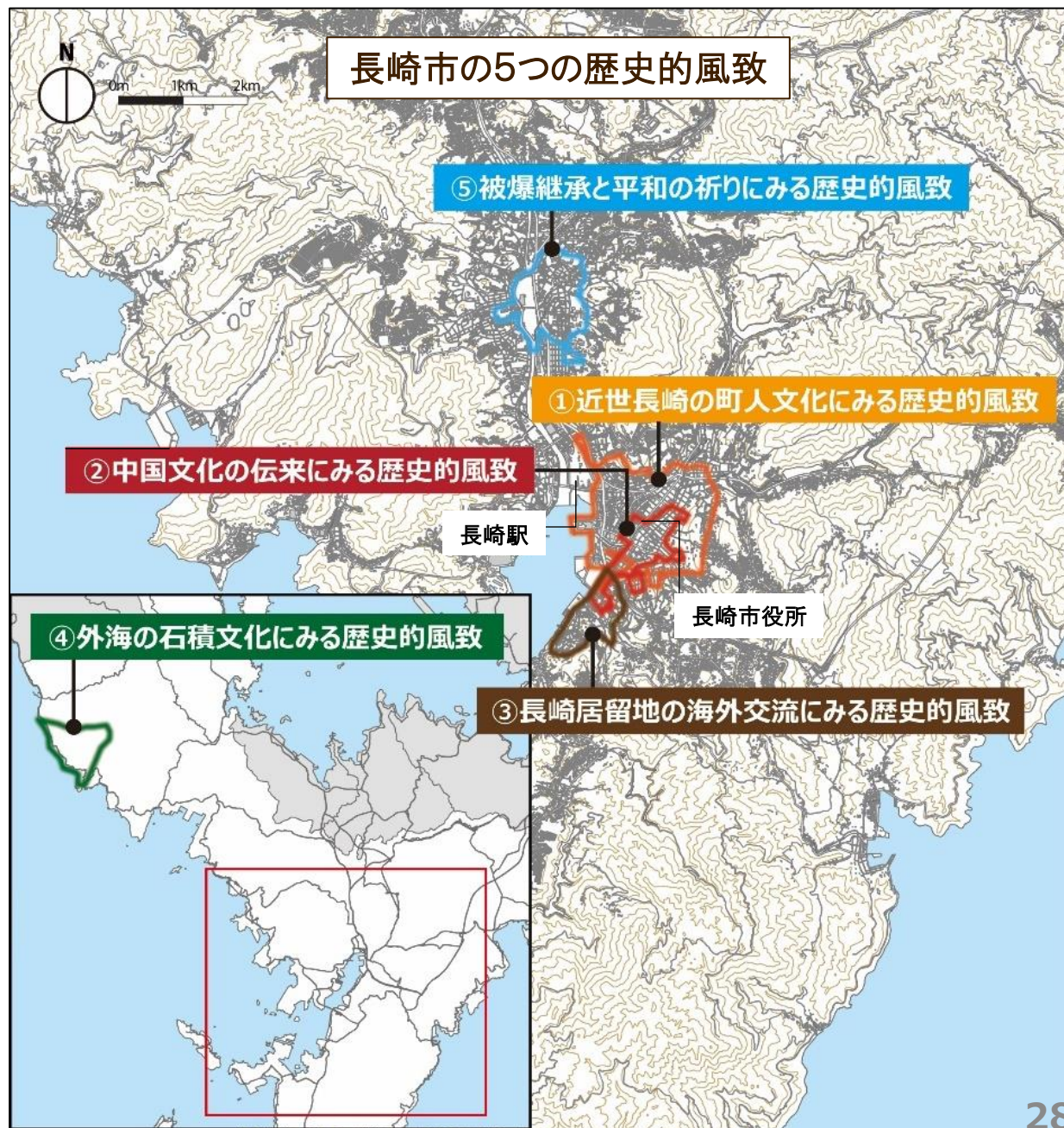
【活動・営み】  
石積文化の継承  
ド・ロ神父の顕彰活動

【歴史的建造物】  
旧出津救助院  
大野教会堂 等

### ⑤被爆継承と平和の祈りにみる歴史的風致

【活動・営み】  
平和祈念式典  
たいまつ行列 等

【歴史的建造物】  
長崎原爆遺跡  
平和公園 等



# 長崎市歴史的風致維持向上計画

## 2 重点区域における主な施策概要

### 1. 歴史的建造物の保存・活用

- (1-7) 中島川・寺町地区まちなみ整備事業
- (1-8) 長崎市まちなか町家等活用事業



- (1-9) 東山手・南山手地区洋館等活用事業



- (1-10) 出島復元整備事業



### 3. 歴史的な営みや活動の継承

- (3-7) 長崎伝統芸能振興会補助金
- (3-8) 長崎くんち踊り会場運営費

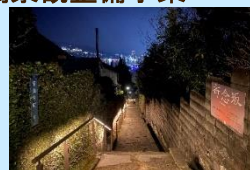


### 2. 歴史的建造物の周辺環境の保全・形成

- (2-2) グラバー園施設整備事業



- (2-5) 夜間景観整備事業

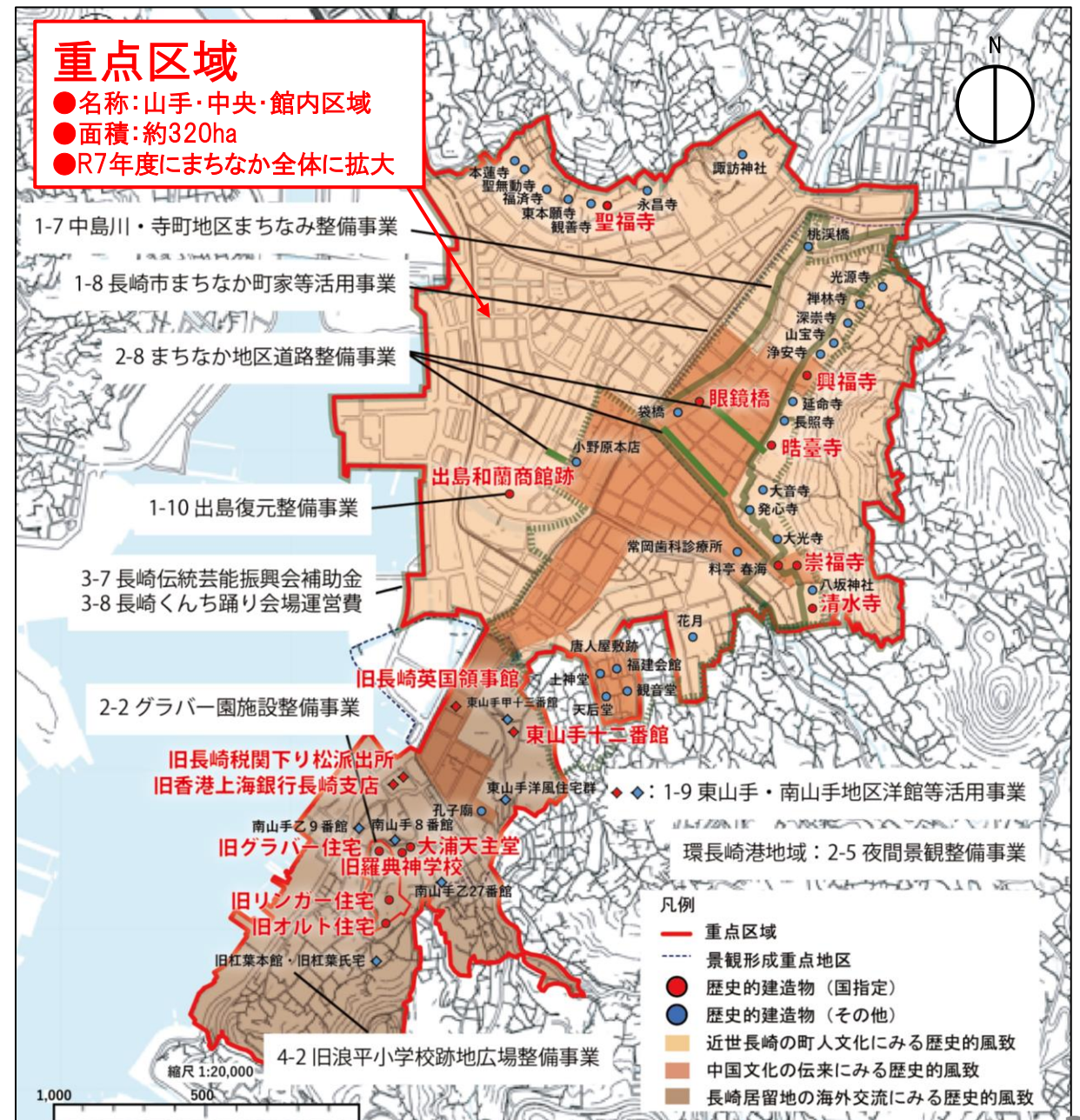


- (2-8) まちなか地区道路整備事業



### 4. 賑わいの創出

- (4-2) 旧浪平小学校跡地広場整備事業



## 3 歴史的風致維持向上計画を推進する国の補助事業

(1) 事業名: 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業(令和8年度観光庁予算)

### (2) 事業内容

歴史的資源等を核としたエリア一帯の環境整備

- ①街並みの高質化、観光インフラ整備、建造物の改修等
- ②環境整備のためのビジョン・戦略策定・整備効果促進

### (3) 地域要件

国の認定を受けた歴史まちづくり計画(歴史的風致維持向上計画)に位置付けられた重点区域に限る。

### (4) 補助率

- ①は補助対象事業費の1/2
- ②は補助対象経費の10/10、最大10百万円

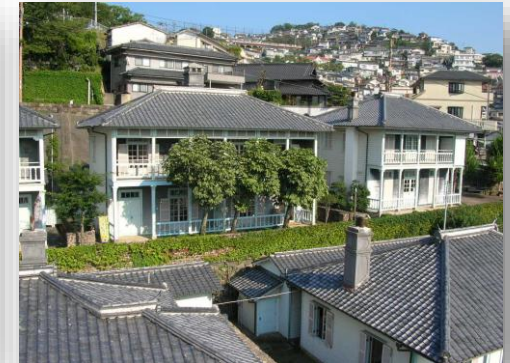
### (5) 補助対象

地方公共団体、民間事業者等

※歴史的風致維持向上計画認定自治体内の者等に限る



重点区域歴史まちづくり  
計画改定事業



洋館活用手法等  
検討費



中島川・寺町地区  
まちなみ整備事業



長崎市まちなか町家等  
活用事業



長崎伝統芸能振興会  
補助金

## 7 環長崎港夜間景觀向上基本計画(景觀推進室)

# 環長崎港夜間景観向上基本計画

1 背景 ライトスケープ基本計画の見直し  
長崎の夜景の在り方に関する検討会等

2 策定日 平成29年5月

3 目的 世界一の夜景都市

4 方針

(1) 遠景の夜景みがき

- ・ 斜面地の灯りの整備
- ・ 水際線の顕在化

(2) 中・近景の夜間景観づくり

- ・ 基本原則の設定
- ・ ランドマークの灯りの整備
- ・ 軸線の灯りの整備

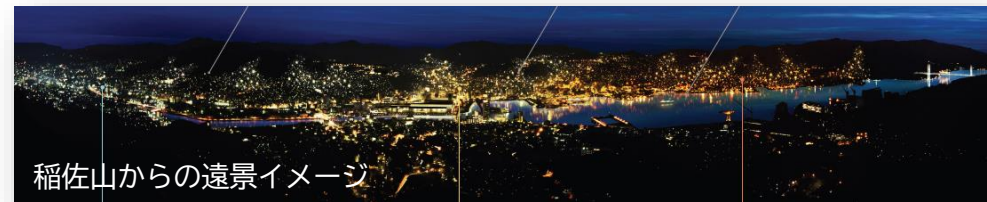
(3) 光の歳時記

- ・ イベントやオペレーション

5 重点エリア

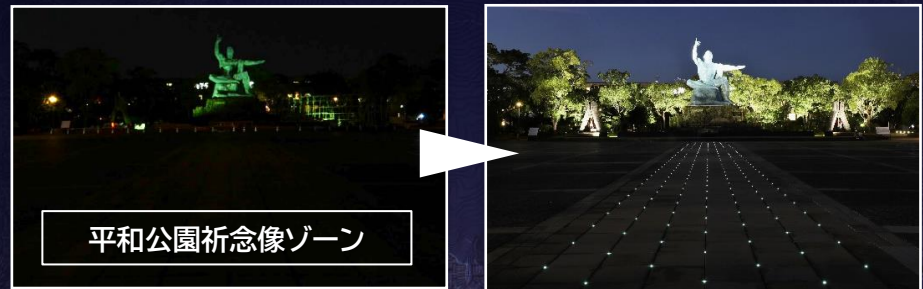
東山手・南山手、館内・新地、中島川・寺町、丸山、平和公園

出島、西坂・諏訪の森、春雨通り周辺、市役所通り、長崎駅周辺

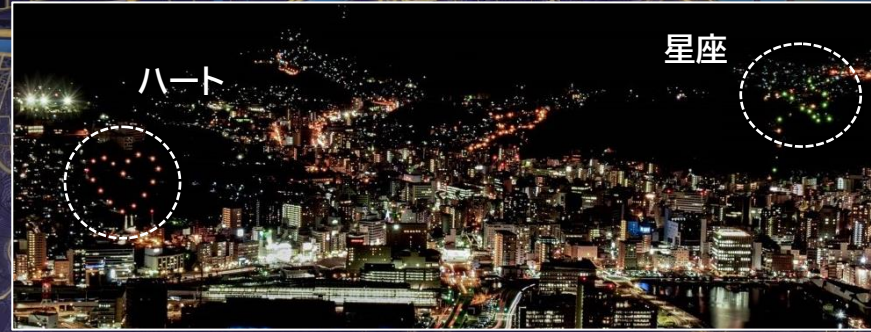
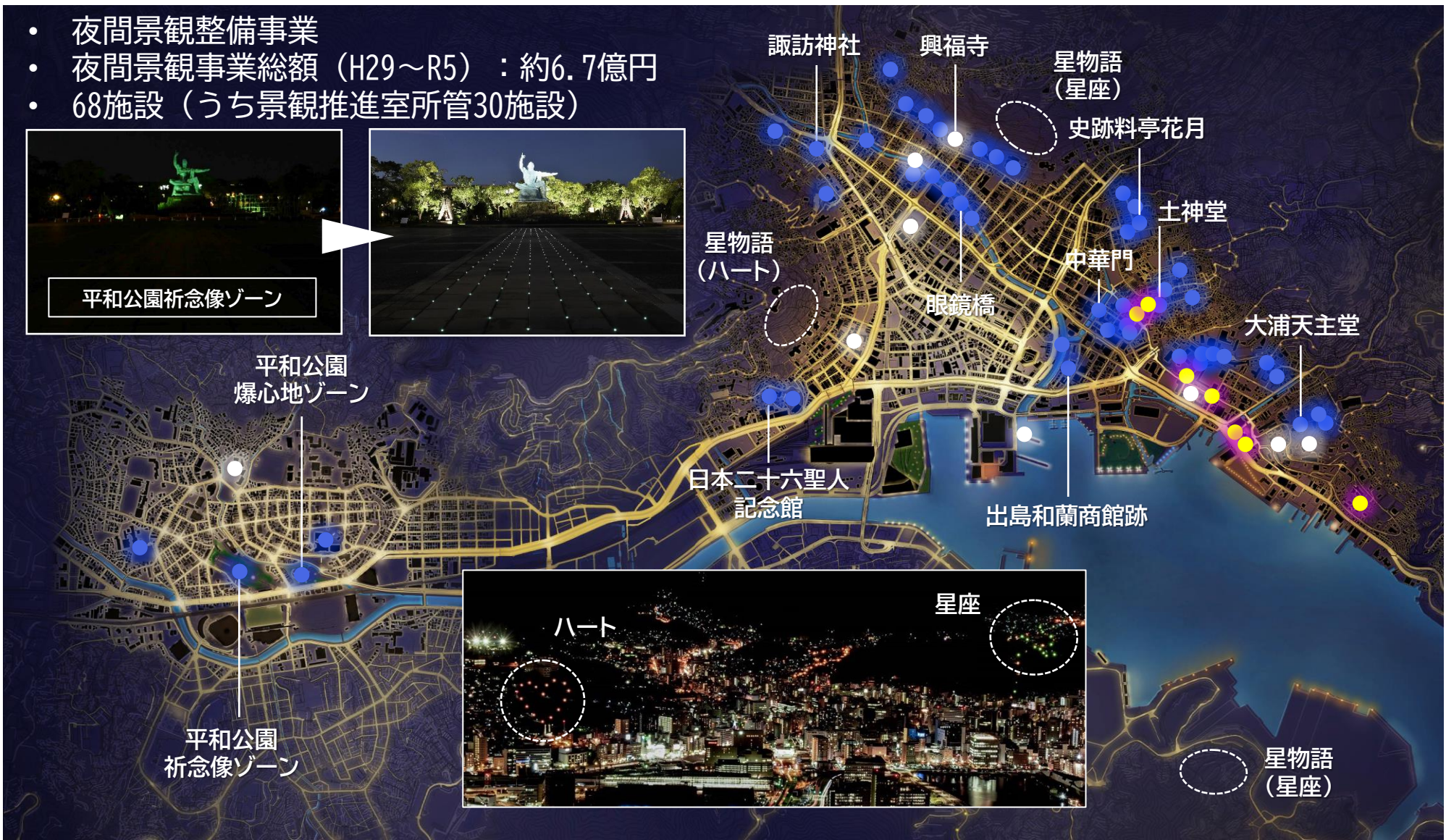


# 環長崎港夜間景観向上基本計画

- 夜間景観整備事業
- 夜間景観事業総額（H29～R5）：約6.7億円
- 68施設（うち景観推進室所管30施設）



平和公園祈念像ゾーン



● 景観まちづくり刷新支援事業 ● その他の事業 ● 既存のライトアップ施設 ○ 景観まちづくり刷新支援事業で整備した遠景演出照明

※景観まちづくり刷新支援事業（H29～R2）：国土交通省の補助事業で、全国からモデル10都市が選定され重点的に景観整備を実施

## 8 脱炭素先行地域づくり事業(ゼロカーボンシティ推進室)

## 1 脱炭素先行地域とは

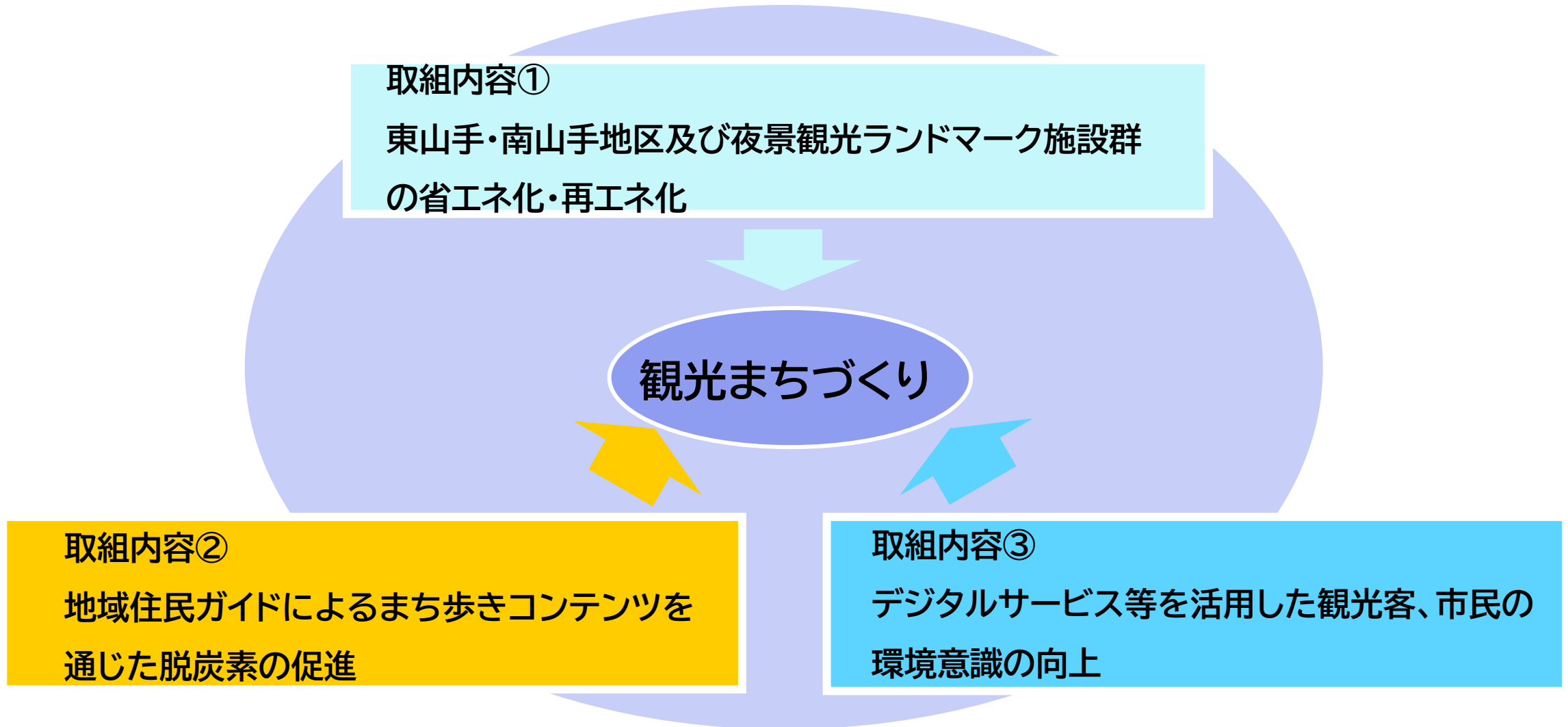
(1) 地域脱炭素ロードマップに基づき100か所以上の先行地域を選定。2025年度末102か所を選定済み。(うち3か所辞退)

(2) 地域の課題解決と生活の質向上を両立した脱炭素化事業を全国で実施。

(3) 民生部門の電力脱炭素化と地域課題の解決を両立し、全国へ波及させる「脱炭素ドミノ」モデル。



## 2 脱炭素先行地域づくり事業における観光まちづくりの視点



## 3 計画の全体像



### 事業期間

令和6年度から令和10年度まで(5年間)

### 計画のコンセプト

「歴史文化」エリア及び「夜景観光」施設の「脱炭素化」により付加価値を高め、世界から選ばれる観光都市として、持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の認証取得と世界への発信を目指します。

### 対象エリア

- ・東山手地区・南山手地区
- ・夜景観光ランドマーク施設群

### 目標

- ・景観規制のある地域での脱炭素モデルの構築
- ・脱炭素による夜景の付加価値向上
- ・脱炭素への意識向上

### 主な取組み内容

- ・対象施設の省エネ化補助及びエリア内への再生可能エネルギーの供給による地域内循環
- ・脱炭素を取り入れたまち歩きのコンテンツ化
- ・デジタルサービスへの脱炭素要素の実装(検討中)
- ・宿泊施設等を拠点としたカーシェア網の構築